

一橋大学ソーシャル・データサイエンス
学部・研究科開設記念シンポジウム
「ソーシャル・データサイエンスの未来へ」



渡部敏明

一橋大学ソーシャル・データサイエンス
教育研究推進センター長

2022年12月16日



略歴

- 1993年にイエール大学でPh.D.(経済学)を取得。
- 東京都立大学経済学部講師、助教授、教授、日本銀行金融研究所シニアフェローを経て、2006年より一橋大学経済研究所教授。
- 2019年4月～2021年3月、一橋大学経済研究所長
- 2020年4月～現在、一橋大学学長補佐(ソーシャル・データサイエンス研究・教育担当)
- 2020年10月～現在、一橋大学ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター長
- 2023年4月から一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部長・研究科長に就任予定。



Social Data Science

専門

- 計量ファイナンス
- マクロ計量経済学
- ベイズ計量経済学
- 2022年1月-12月、International Society for Bayesian Analysis (ISBA) の部会Economics, Finance and Business (EFaB) のChairを務める。
- 2023年1月13日、Webinar of Bayesian Econometrics 2023を開催。



Social Data Science

環境問題

■ CO2削減

➤ AIの重要性

- 排出量のモニタリング
- 排出量の予測
- 排出量の削減

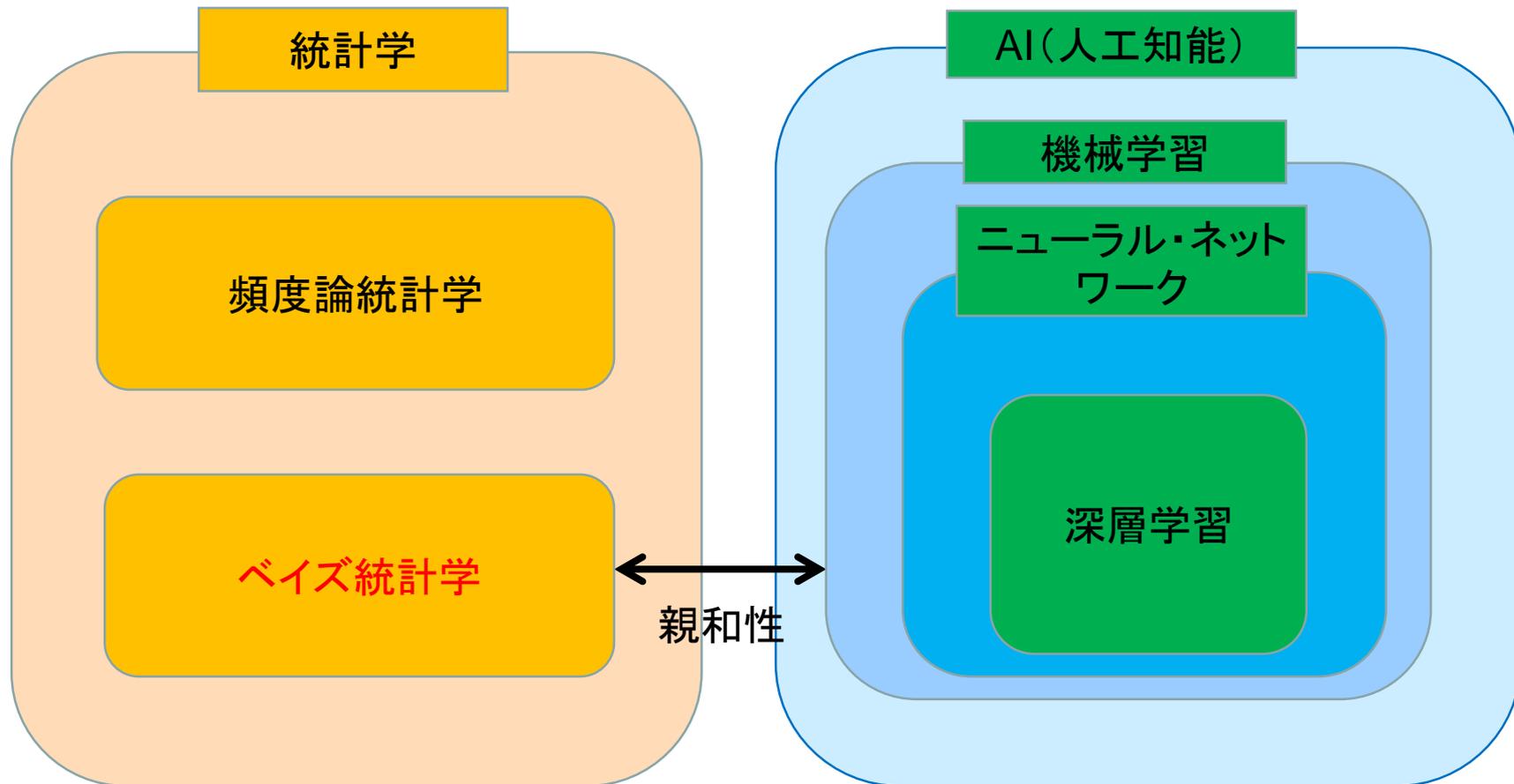
➤ カーボンプライシング

- 炭素税（日本では賦課金が2028年頃導入予定）
- 排出権取引（日本では2033年頃導入予定）
- 経済学の知見



Social Data Science

データサイエンスの手法



コンピュータの処理能力の飛躍的な向上

- ムーアの法則
- CPUの高速化
- GPUによる並列計算
- 量子コンピュータ、光コンピュータ



麒麟ホールディングスの取り組み

- 企業におけるDXの重要性
 - 生産性の上昇
- 社会にとってのDXの重要性
 - DX→GX
- マーケティング
- DX道場

